桑名福祉センター
デイサービスの実践

で居続けられる可能性を信じて～

桑名福祉センター　杉本由美子
小谷早織
関山恵美子
髙橋洋介
杉本直美

◆桑名福祉センター
デイサービスについて

▶ 特色

①看護師による水銀血圧計を用いたバイタルチェックを通じて毎朝の健康相談

→一人ひとり時間をかけたバイタルチェックをしながらコミュニケーションを図り、体調の変化や心配事などの早期発見に努めている

②直接的に援助を行っている職員による送迎

→利用者の心身状態を熟知した職員によりきめ細やかな送迎対応や家族とのコミュニケーションが図れる

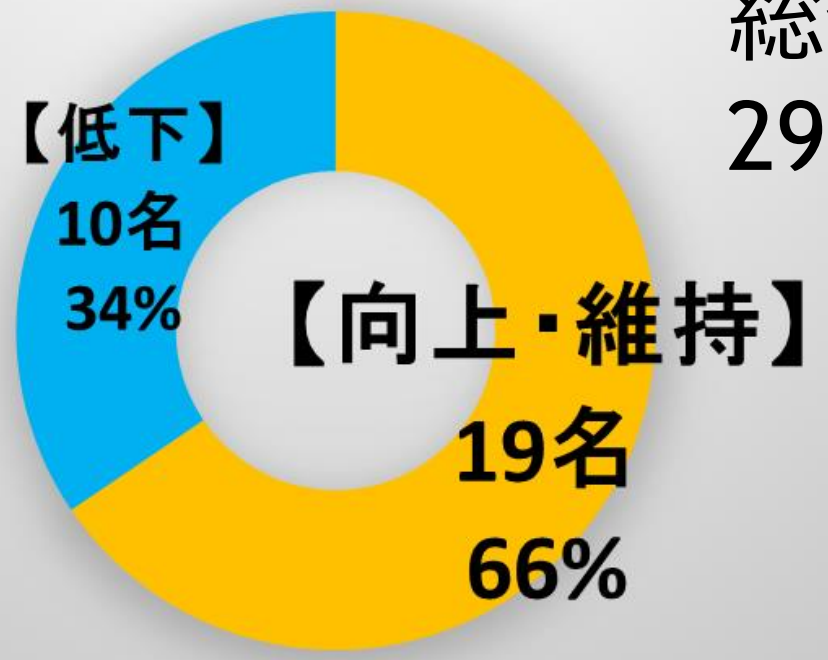
③自宅と同じような環境の個浴

→自宅で入浴できるための入浴訓練につながる

利用登録者の介護度別人数

平均年齢
約８１歳

過去3年継続して利用している方の要介護(支援)度状態の変移
(H23.1.31～H27.2.1)



総数
29名

平成27年1月末現在

◆利用登録者の介護度別人数から
つながる課題

- 要支援１・２、要介護１の利用者が約半数を占めている

  →比較的自立度が高いことから出来ることが多い

  →画一的なサービスメニューでは満足されない

  →主訴がしっかりとしており、それに応じたサービスを求める

◆課題解決に向けた取り組み

①多様化するニーズへの対応
　→利用者主体の原則
　→アセスメント・モニタリングを重視

②選択できるレクリエーションメニューの開発
　→文化・創作・活動グループ
　→３カ月ごとにモニタリングを実施

③サービスメニューのバリエーションを増やす
　→利用者の意向を伺う（アンケートや聞き取り）
　→季節行事に加え、誕生日外出や調理実習など

◆出来ることの上限を高め、可能性を信じる

- アセスメント・モニタリングをする際に意識していること
  →「出来ないこと」ではなく「出来ること」に
  焦点を合わせる

- 今ある能力の活性化を図る
  →出来ることを最大限活かし、工夫してその上限を高める

社協の事業所で個別機能訓練加算を
算定しているのは桑名福祉センターだけ！

◆利用者主体に向けた職員間の技術・知識・意識の共有化

- 共有を図るためのミーティングや研修を設定（基本１回以上／月）
  - ・朝、夕のミーティング（毎日）
  - ・現場ミーティング
  - ・午前勤務者ミーティング
  - ・３グループ（文化・創作・活動）ごとのミーティング
  - ・個別機能訓練アセスメント・モニタリングミーティング
  - ・個別介護計画アセスメント・モニタリングミーティング
  - ・送迎運転手ミーティング
  - ・職場内研修（勉強会）
  - ・新規利用者アセスメントミーティング

ご清聴ありがとう
ございました
ありがとう